

令和4年度 子ども大学さやま・いるま

1 実施体制

子ども大学さやま・いるま	学長	井上 俊哉（東京家政大学・東京家政大学短期大学部学長）
	副学長	滝嶋 正司（狭山市教育委員会教育長） 中田 一平（入間市教育委員会教育長）
子ども大学さやま・いるま 実行委員会	実行委員長	池森 隆虎（東京家政大学地域連携推進センター所長）
	実行委員 （関係団体）	東京家政大学/狭山市教育委員会/入間市教育委員会

2 事業内容

開催期間	令和4年7月23日～令和4年9月3日			
参加者数等	定員	30名	応募者数	65名
	参加者数	4年 8名 5年 15名 6年 6名	修了者数	4年 8名 5年 15名 6年 6名

3 実施内容

1日目	開催日時	7月23日（土） 14：45～16：25	 <p>タグを取られないようにみんなで協力しよう！</p>
ふるさと学・ 生き方学	会場	東京家政大学	
	講義名	「Let's Try! タグラグビー！ ～みんなで活躍、チームプレイを 体験しよう！！～」	
	講師	セコム(株)ラグビー部セコムラガッツOB チームスタッフ 海老沢 洋先生	
2日目 午前の部	開催日時	8月20日（土） 10：00～11：40	 <p>想いと一緒に箱の中に好きなものを詰め込もう</p>
生き方学	会場	東京家政大学	
	講義名	「すきなものコレクション ～すきなもの、気に入っているもの を箱の中に詰め込もう！～」	
	講師	東京家政大学 岡田 京子 先生	
学食体験	開催日時	8月20日（土） 11：40～12：40	 <p>楽しみにしていた学生食堂！わくわく！</p>
	会場	東京家政大学 学生食堂	
	講義名	「自分の好きなメニューを選ぼう！」 わくわく！どきどき！お楽しみ！	
	講師	—	

2日目 午後の部	開催日時	8月20日(土) 12:55~14:45	 <p>優しく、優しく・・・先生に教わりながら。</p>
生き方学	会場	東京家政大学	
	講義名	「看護のお仕事、学んでみよう！ ～赤ちゃんの身体の音を知ろう& お世話の体験～」	
	講師	東京家政大学 岩田 みどり 先生・藤田 藍津子 先生	
3日目	開催日時	9月3日(土) 14:00~15:40	 <p>様々な視点をもつ大切さを体験。感動的でした。</p>
はてな学 生き方学	会場	東京家政大学	
	講義名	「多文化理解ってどんなこと？ -工作を通して様々な視点をもつ大切さについて体験してみよう！-」	
	講師	東京家政大学 五十嵐 淳子 先生	

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・例年定員60名のところ、30名に縮小して実施した。
- ・講師・実行委員・参加者全員、入構時の検温・手の消毒・マスク着用等、感染症予防対策を徹底した。
- ・座席は指定とし、万が一感染者が出た場合、濃厚接触者に素早く対応できるようにした。
- ・座席は間隔をあげ、徹底して密を避けた。
- ・入学式、修了式の保護者の参加はなしとし、修了証書の受領は各市の代表者各1名のみとした。

5 参加者の声（抜粋）

参加した子供の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らないことなどをいろいろ知れたことがうれしかったです。来年も参加して、もっと知らないことをいろいろと知りたいです。</li> <li>・学食がとても楽しかった。あと、看護のお仕事を学んで、これからは備えていけるので、すごくよかったです。</li> <li>・ラグビーで体を動かすことをやり、看護の勉強では赤ちゃんのおむつ交換などをして、他にも色々あり、全てすごく楽しかったし、学んだこともありました。</li> <li>・いろんなことを一緒に考えたり、体験したり、作ったりして、とても楽しかったです。また参加できたらなと思います。</li> <li>・ラグビーでは人との関わりを知れました。コレクションで個性を出すことが分かり、赤ちゃんのお世話を知り、多文化理解では差別やいろいろな壁を知って、それについてもっと知りたいと思いました。</li> </ul>
--------------	---

保護者の声  
(感想)

- ・全体を通して、新しいお友達との出会いに喜び、学習内容も楽しかったようです。特に、学食体験は前日から楽しみにしていて、帰って来てからも嬉しそうに話してくれました。コロナ禍で生活全体が変わってしまった中、このような機会がとても貴重で、様々な体験をさせてあげたいと思っています。今の子供たちは貴重な3年間を自粛生活によって新しい経験をする機会が少なくなっていました。健康であるからこそその生活ではありますが、感受性豊かな今だからこそ、体験してほしいという気持ちもあります。せっかくの機会なので、こういった感染症などに関して学ぶ場があってもいいのかな・・・と個人的には思います。そうすることで、子供たちが我慢してきたことに対しての意味が分かるのではないかなと思います。3日間ありがとうございました。
- ・1日目、帰って来てすぐ「ラグビーが楽しかった!」「新しい友達ができ!」と興奮気味に話してくれました。体を動かすことが好きなので、スポーツの実習があれば、また参加させたいと思いました。2日目は、赤ちゃんの体のしくみを学んで、実際にお世話をした事が、本当に良い経験になったようです。末っ子なので、赤ちゃんのお世話をした事がなかった為、おむつ替えに手間どったみたいですが、「おむつ替える時はこうやるんだよ!」とジェスチャーをしながら教えてくれました。学食で昼食を食べるというのも、とても良い経験ができました。自分で食券を買って食べた昼食は、とても美味しく「大学生になったみたい」と、とても喜んでいました。
- ・赤ちゃんのお世話体験が印象に残ったようで、2日目の大学、終了してから1週間くらいはずっとその話をしていました。赤ちゃんはどれくらい重たくて～…、ドキドキするスピードが速くて～…こんなふうに抱っこして～…とくり返し話してくれました。学食もおいしかったようで「将来、ここの大学に入って勉強したい」と本人から言っていました。また来年も行けるチャンスがあったら行きたいそうです。知らないお友達もでき、知らない世界の勉強もでき、世界が広がったようです。ありがとうございました。
- ・娘が将来の夢として社会福祉の仕事に興味があるので、2日目の看護の講座と実習が特に面白かった様です。昨年度の狭山市の子ども大学にも参加させて頂いたのですが、実際に大学のキャンパスに行き、思っていた以上に色々な学部がある事や、選択の幅が広がる事を知るきっかけになったと思います。また、体を動かす事も好きなので、初日にラグビーの体験ができて楽しかったと話していました。また今年度の子ども大学さやまにも参加したいと言っているの、申し込みをしようと思っています。3日に渡り、お世話になりました。娘が貴重な体験ができた事をうれしく思います。ありがとうございました。
- ・昨年(5年生)参加して楽しかったそうで、今回もぜひ参加したいと子どもの希望で申し込みました。初めてのことをプロから学べて面白かったようです。先生の説明がとても分かりやすかったと言っています。貴重な体験をさせることが出来て、嬉しいです。